

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	610100101	科目名	情報Ⅰ	単位数	2単位
履修年次	1年次	設置系列	情報	履修条件	必履修
使用教材	教科書	高校情報Ⅰ 新訂版(実教出版)			
	副教材	高校情報Ⅰ 新訂版 学習ノート、令和8年度版 全商情報処理検定 模擬試験問題集 情報基礎			
到達目標	情報に関する科学的な見方・考え方を重視するとともに、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用するための知識及び技能を身に実際に活用する力を養うとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養うことを目指している。				
選択条件	必履修科目です。				
	【補足】				
授業内容	授業はパソコン実習形式で進めますが、筆記試験対策として座学も行います。 ①情報社会社会と問題解決 ②コミュニケーションと情報デザイン ③コンピュータの仕組み ④プログラミングとシミュレーション ⑤ネットワークと情報システム ⑥データの活用				
学習方法	1月に行われる全商情報処理検定 情報基礎の合格を目指し、模擬試験問題集を中心に学習します。ソフトウェアの操作については、基本を一つ一つ確認し、技術の習得だけでなく、どのように活用できるかを考えることが大切です。 先生から言われたことだけをやるのではなく、自ら積極的に練習問題などを解きましょう。				
評価の観点	知識・技能	情報と情報技術についての知識と技能、情報と情報技術を活用して問題を発見・解決する方法についての知識と技能を身に付けるとともに、情報に関する法規や制度及びマナーなどについて、情報と情報技術の理解と併せて身に付ける。			
	思考・判断・表現	情報に関する科学的な見方・考え方を働かせ、さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉え、複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力を養う。情報と情報技術を改善することで、適切かつ効果的に活用する力を養う。			
	主体的に学習に取り組む態度	情報と情報技術を適切に活用して、法規や制度及びマナーを守ろうとする態度、情報セキュリティを確保しようとする態度などの情報モラルを養い、これらを踏まえて情報と情報技術を活用することで情報社会に主体的に参画する態度を養う。			
評価方法	知識・技能	小テスト、定期考査			
	思考・判断・表現	小テスト、提出物			
	主体的に学習に取り組む態度	提出物、授業時の態度、考査課題			

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	618170103	科目名	データベース	単位数	4単位
履修年次	3年次	設置系列	情報	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	データベース(実教出版)			
	副教材	情報処理技能検定試験(データベース)模擬問題集1・2級編			
到達目標	情報産業に関する事象をデータベースの視点で捉え、情報社会の学習を基盤としてデータベースの利用、構築、運用及び保守に関する知識と技術を身に付け、データベースの活用に必要な能力とデータベースの安全かつ効率的な活用に取り組む態度を養う。				
選択条件	①情報分野に興味がある生徒。				
	【補足】				
授業内容	①データベースに関する具体的な課題を設定し、データベースを設計し操作する学習活動を行うことで、データベースの機能や役割、仕組み、データベースの必要性や重要性、データベース管理システムの機能や役割などについて考察します。 ②実際にデータベースの設計を行うことができるデータベースソフトAccessを使用し実習しながら、技術の習得に取り組みます。				
学習方法	①データベースソフト「Access」を使って、リレーショナルデータベースの基本的な操作及びデータベースの設計とデータ操作を学習していきます。 ②日本情報処理検定協会 情報処理検定(データベース)1級の資格取得を目指します。 ③データベース操作標準言語のSQLを実習をしながら学習していきます。				
評価の観点	知識・技能	データベースについて体系的・系統的に理解するとともに、関連する技術を身に付けるようにする。			
	思考・判断・表現	データベースに関する課題を発見し、情報産業に携わる者として合理的かつ創造的解決する力を養う。			
	主体的に学習に取り組む態度	データの安全かつ効率的な活用を目指して自ら学び、データベースの利用、構築、運用及び保守などに主体的かつ協働的に取り組む態度を養う。			
評価方法	知識・技能	小テスト(筆記・実技)、定期考査			
	思考・判断・表現	小テスト(筆記・実技)、定期考査			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む態度、授業中の態度、課題・提出物			

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	618180102(2年) 618180103(3年)	科目名	情報デザイン	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	情報	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	情報デザイン(実教出版)			
	副教材	なし			
到達目標	さまざまな情報を人の視覚にうったえデザインという形で表すとき、その情報をデザインとしての確に表現しなければならない。この授業ではアイデアや創意工夫を大切にす。また、表現するための基礎的な知識、理論、技術を学習する。				
選択条件	①ポスター制作やピクトグラム制作に興味がある生徒。				
	【補足】 情報系の専門学校に進学する生徒。				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Word、PowerPointを使用したデザイン作成</li> <li>・イラストレータの基本操作</li> <li>・イラストレータを使用したデザイン作成</li> <li>・情報デザインの基礎</li> <li>・情報デザインの表現</li> <li>・情報デザインの実際</li> </ul>				
学習方法	<p>①Word、PowerPointを活用して、毎回、作品制作を行い、課題として提出します。</p> <p>②実習では、基本的なコンテンツを参考にしながら、主体的かつ協働的に取り組み創造的な作品を制作するようにしましょう。</p>				
評価の観点	知識・技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を理解し、さまざまなアプリケーションソフトを使用して課題を作成することができる。			
	思考・判断・表現	課題の解決方法を情報モラルを踏まえ、思考を深め、適切に判断できる。			
	主体的に学習に取り組む態度	課題を自ら進んで情報及び情報技術を活用し、主体的に解決しようと取り組む態度ができる。			
評価方法	知識・技能	グループ活動、提出物、小テスト			
	思考・判断・表現	グループ活動、提出物、小テスト			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む態度、授業中の態度、グループ活動、提出物			

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	618220102(2年) 618220103(3年)	科目名	3Dアニメーション	単位数	2単位
履修年次	2・3年次	設置系列	情報	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	POV-RAYによる3次元CG制作 -モデリングからアニメーションまで-(画像情報教育振興協会)			
	副教材	なし			
到達目標	POV-Rayを活用してコンテンツの制作実習に取り組み、これまで学んだコンテンツの制作に関する知識と技術を総合的に身に付けること、一連の作業を総合的に理解すること、創造性、コミュニケーション能力などの実践的な能力と態度を養う。				
選択条件	①CG作品制作に興味がある生徒。				
	【補足】				
授業内容	3次元コンピュータグラフィックスを取り上げ、POV-Rayの特徴や編集技法などの制作と編集に必要な知識と技術を扱う。その際、実際に作品を制作したり、編集したりする活動などを通して、照明やカメラなどの条件を設定して画像として視覚化する技法など、3次元空間上での物体の形状や質感を定義するために必要な知識と技術について扱う。				
学習方法	①POV-Rayを活用して、シーンファイル(プログラム)を記述し、毎回、作品制作を行い、課題として提出します。 ②実習では、基本的なコンテンツを参考にしながら、主体的かつ協働的に取り組み創造的な作品を制作するようにしましょう。				
評価の観点	知識・技能	POV-Rayを活用するための基礎的・基本的なプログラミング知識を理解し、立体的な画像やアニメーションを作成することができる。			
	思考・判断・表現	課題の解決方法を情報モラルを踏まえて、思考を深め、適切に判断することができる。			
	主体的に学習に取り組む態度	課題を自ら進んで、情報及び情報技術を活用し、解決しようと取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	グループ活動、提出物、小テスト			
	思考・判断・表現	グループ活動、提出物、小テスト			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む態度、授業時の態度、グループ活動、提出物			

## 6 各科目シラバス

科目選択コード	618230103	科目名	Webクリエイト	単位数	2単位
履修年次	3年次	設置系列	情報	履修条件	選択履修
使用教材	教科書	30時間でマスターWebデザイン(実教出版)			
	副教材	情報デザイン検定試験(Webページ)模擬問題集1・2級編			
到達目標	さまざまな情報を人の視覚にうったえたWebページで表すとき、その情報を的確に表現しなければならない。この授業ではアイデアや創意工夫を大切にする。また、Webページを作成するための基礎的な知識、理論、技術を学習する。				
選択条件	①PC操作ができWebページ作成に興味のある生徒。 ②情報系の専門学校に進学する生徒。				
	【補足】				
授業内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Webサイト制作の基礎</li> <li>・HTMLの基礎</li> <li>・CSSの基礎</li> <li>・Webサイトの制作</li> <li>・JavaScriptの使用例</li> </ul>				
学習方法	①HTML言語を活用して、毎回、作品制作を行い、課題として提出します。 ②実習では、基本的なコンテンツを参考にしながら、主体的かつ協働的に取り組み創造的な作品を制作するようにしましょう。				
評価の観点	知識・技能	情報及び情報技術を活用するための基礎的・基本的な知識を理解している。HTMLを使用してWebページを作成することができる。			
	思考・判断・表現	情報モラルを踏まえて、課題の解決方法について思考を深め、適切に判断できる。			
	主体的に学習に取り組む態度	課題を自ら進んで情報及び情報技術を活用し、解決しようと取り組むことができる。			
評価方法	知識・技能	グループ活動、提出物、小テスト			
	思考・判断・表現	グループ活動、提出物、小テスト			
	主体的に学習に取り組む態度	授業に臨む態度、授業時の態度、グループ活動、提出物			